

## イスラーム勉強会 テキスト

イスラームは女性差別をしているのでしょうか？

### 勉強開始時のドゥアー

ビスミ= ッラーヒ= ッ= ラフマーニ= ッ= ラヒーム。

(慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において)

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

アル= ハムドゥ・リッラーヒ・ラッピ= ル= アーラミーン。

(あらゆるものの主アッラーにこそすべての称讃あれ)

الحمد لله رب العالمين

ワ・アフダル= ッ= サラーティ・ワ・アタンム= ッ= タスリーミ・アラー・サイイディナー・ムハンマディン・ワ・アラー・アーリヒ・ワ・サハビヒ・ワ・サッラム。

(そして我らが指導者ムハンマドさまとそのご家族、ご教友に最高の祝福と平安がありますように)

وأفضل الصلاة وأتم التسليم على سيدنا محمد وعلى آله وصحبه وسلم

アッラーフンマ・アフリジュナー・ミン・ズルマーティ= ル= ワハム。

(アッラーよ、どうか私たちが思い込みの闇から救い出してください)

اللهم أخرجنا من ظلمات الوهم

ワ・アクリムナー・ビ= ヌーリ= ル= ファフム。

(理解の光をお恵みください)

وأكرمنا بنور الفهم

ワ= フタハ・アライナー・ビ= マアリファティ= ル= イルム。

(知識の扉をお開きください)

العلم وافتح علينا بمعرفة

ワ・サッヒル・アフラーカーナー・ビ= ル= ヒルム。

(私たちの性格を温和さでより穏やかなものとしてください)

وسهّل أخلاقنا بالحلم

ワ= ジュアルナー・ミンマン・ヤスタミウーナ= ル= カウラ・ファ= ヤッタビウーナ・アフサナ(フ)。

(そしてどうか私たちを、言葉に耳を傾け、その中でも最善のものに従う者たちの一員としてください)

واجعلنا ممّن يستمعون القول فيتبعون أحسنه

## このテキストの注意事項

- \* テキストを作成する上での参考文献は基本的に日亜対訳・注解クルアーン(宗教法人日本ムスリム協会発行)及び預言者ムハンマドの足跡を辿って<前編・生誕からヒジュラ(マディーナへの移住)まで> (アフマド・クフターロー師の預言者伝講義より)訳アブー・サキーナ前野直樹によります。  
その他については都度注釈を付けることを心がけます。
- \* 預言者ムハンマドのお名前を聞いたり、口にしたりする時は、「まことにアッラーと天使たちは預言者を祝福する。信仰する者たちよ、汝らは彼を祝福し、最大の敬意を払って挨拶しなさい」(クルアーン33章56節)とクルアーンにあるように、必ず「アッラーの祝福と平安あれ(サッラ=ッラーフ アライヒワ サッラム)」と祈るのがムスリムとしての礼儀ではある。しかし本テキストではあえて割愛させて頂いた。しかしムスリムの方は各自お祈りの言葉を唱えて頂きたい。
- \* 本テキストで旧約聖書・新約聖書等にも登場する預言者達の名前が出てくる場合は、全てアラビア語読みとします。一例とすると「アダム」は「アーダム」,「ノア」が「ヌーフ」,「モーセ」が「ムーサ」,「イエス」が「イーサー」である。
- \* アラビア語を日本語にする時にどうしても当てはまらないニュアンスの単語があり、日亜対訳・注解クルアーンと違う説明が出てくる時もあるが、出来るだけこれについても引用文献の注釈を付けることを心がけます。
- \* 基本的にこのテキストでは、文献に基づいた事柄を中心にしますが、制作者の個人的な意見も書く場合があります。その場合も注釈を入れます。
- \* イスラームを勉強する場合は、ムスリム(人間)を見ないようにといわれています。どの宗教でも同じですが、完全な人間はいませんので、あるムスリムを見て「あれがイスラームか」と納得しないで頂きたいと思います。出来るだけ信頼の高い文献で裏付けするか、同じ事柄を複数のムスリムに聞いた方が良いでしょう。正しい知識を得る努力をして下さい。
- \* 本テキストへのご意見・疑問・質問等ありましたら制作者までお問い合わせ下さい。

七、女性の服装

社会の単位を家庭とするイスラームは、健全な家庭を築くため以外の性的交渉をゆるさない。乱交や浮気などすべての結婚以外の性交は、単なる不品行ではなく、社会の基盤をゆるがす犯罪である。そこで、ただ禁止するだけでなく、そのようなことが起こりにくいように定めてもいる。男女のデート、あるいは男女複数によるパーティなどはゆるされていない。男は男同志の会合をもち、女は女同志の会合をもち、なにかの会議や集会で男女が合流することがあっても、そこではできるだけ性の誘惑を避けるようにする。

この大前提にたつて、男女の服装に関する教えがある。アッラーは男性を強く女性を美しくつくられたというが、女性の姿形は性的魅力にあふれているから、男性同様の服を着るわけにはいかない。

聖クルアーン第三三章五九節には「預言者よ、妻や娘たちや信者の女性に長衣をまとうようにいえ。(女たちの立場が)知られ、きずつけられないように...」とある。この「長衣をまとう」という言葉から保守派は顔を含めた全身を隠す意味に解釈する。現代社会において短いスカートや肌を露出するドレスなどで夜道をひとり歩きする女性が性犯罪をひき起こしやすいことをみても、その点はわかる。だが長衣がなぜ顔まで隠すのかは、この句からは判断できない。

聖クルアーン第二四章三一節では「外にあらわれるもの以外は、女性の美や飾りを見せなくてはならない」というが、保守派は通常外にあらわれるのは目と、手首から先と、足のくるぶしより下だけだと断定する。同じ節で「ベールで胸を覆え」とトップレスは禁止されているが、このベールは髪を覆うもので、当然、顔も隠さねばならないとする。

預言者の言葉として「外にあらわれるのは、こことここである」とされ、預言者がどこを示したのか学者間の論議の的となっているが、少数の保守派は目と手の平だとし、大多数は顔と手だとしている。だからイスラーム女性でも顔を隠さない女性が多い。しかし問題は「通常外にあらわれる美と飾り」である。ある種の社会で女性が顔と全身を隠すのが習慣なら、それは通常外にあらわれないものだ。他国からきた女性もその慣習には従わなければならない。

いずれにせよ、イスラームは預言者の言葉として「後世において学者たちの間で意見が分かれる場合があろう。これは信者へのアッラーからの慈悲である。信者はどの学説に従ってもよい」と伝え、信者に自由を与えている、イスラームはゆるされていることの限度を示し、そこから逸脱してはならないという。そして学者の一部は逸脱することをおそれるあまり、限度より手前に厳しい線をひいてしまう。反面、一部の少数派はあまりにもリベラルにとらえ、限度を越えてしまうようにみえる。どの説を採用するかは信者の良識にまかされている。だが、かりにも学者とされるほどのものなら、自説にたいして聖クルアーンと預言者のハディースから相応の根拠をもちはずであり、まちがいと断定するわけにはいかない。

イスラームは異性のあいだがらを大切にす。そして、とくに女性の立場を尊重する。女性が自分の性的魅力を安売りしなければならぬのは正常ではない。女性のヌードが本にあふれ、テレビを通じて茶の間にまで入り込むのは、女性にとって（人類にとって）プラスになることではない。その刺激的なムードの中で男性の女性への憧れはかえって消失していく。より直接的、より刺激的な触れ合いを求めようになり、その延長線上には性犯罪がある。人類の流れを大切にせず、家庭を社会の基本単位とせず、人間性の個という断片だけを見つめる社会においてはあたりまえの風潮だろう。そしてその渦は小学生まで巻き込んでしまっている。

人間は男女ともに、性の問題を大切にし、人類の未来を見つめなければならない、そして、なぜ人間が存在するのか、どこから来てどこへ行くのかを問うべきだ。この姿勢をもって、はじめて世界平和やいろいろな社会問題に対処できるだろう。男女の服装も、性の問題を大切にすひとつのあらわれだ。良識をもって採用すべきだ。  
以上 イスラームHPより抜粋。

ニュース等でよく伝えられる事の1つに、「イスラームでは女性信者は抑制されている。その代表的なことが服装である」を良く耳にします。  
そして、あの独特の服装やベールから解放してあげましょう。みたいなことも言われますが、実はどうなのでしょう。ということをお今回の勉強の目的にしました。  
実は、女性を守ることが目的であるということがわかります。  
実際、ベールを付けている女性のほとんどは押しつけられているわけではありません。自ら付けている人がほとんどです。でもどうして付けたいの？という疑問もあると思います。それは「どうして豚を食べないの？」という質問と同じです。  
理由はイスラームを信じ、アッラーを愛しているからこそ、そうしたいのです。  
人間は良く理由を知りたがります。しかしアッラーの言葉に理由はいらないのです。  
クルアーンをたどる時に「船を操縦する説明書」と言われたことがあります。  
説明書を使うのは人間の自由です。それに従う人もいれば、自分勝手に動かす人もいます。説明書に理由は書いてありますか？それは船を造った人がわかっていること。つまりこの世界の創造主であるアッラーさえわかっていること。

ちなみに、男性の服装は「へそから下と膝から上を隠す」のが最低限度です。  
これ以上の裸体は、家族や夫婦以外の人には見せないようにとされています。